

ここに注目！



安心・安全で魅力ある商店街を次世代へ継承、地元大学や行政等と連携しルールを策定

ポイント

安心・安全で魅力ある商店街を次の世代に継承するため、地元大学や行政等と連携し、通りや建築物等に関する基準や、防災や商業環境の取組などについての商店街共通のまちづくりルールを策定し運用している。また、「ドッキリヤミ市場」等の個性的なイベント開催により商店街活性化に取り組んでいる。

【現状分析及び課題抽出】

Plan

火災を契機に商店街のまちづくり

平成 23 年 8 月に商店街で発生した火災を契機に、安心・安全で魅力ある商店街を次の世代に継承するための様々な取組を進めている。

平成 23 年度からまちづくり検討会議を毎月開催し、災害に強く魅力ある商店街のまちづくりに向けた検討を行うとともに、地域の方々へのアンケート調査を定期的に行ってきた。

このような取組から明らかになったまちの魅力と課題から、商店街の目標として、「人と人とのふれあいのまち」「安心安全なまち」「次世代へと受け継がれるまち」の 3 つの柱からなるまちづくりビジョンを掲げ、これらを踏まえたまちづくりルールやプランの策定、環境整備等の取組を進めてきた。

【対応策の優位性】

Do

レトロなまちなみの維持と賑わい創出

平成 26 年 4 月に「六角橋商店街地区まちづくりルール」を、商店街エリア全域を対象に策定した。

このルールでは、まちづくりビジョンを実現するため、通りや建築物等に関する基準や、防災や商業環境の取組などについて定められている。これに基づき、定期的な防災訓練の実施や、街かど消火栓の整備、商店街利用者のマナー改善の働きかけなど、安心して買い物ができる環境づくりに取り組んでいる。

また、商店街のもつ昔懐かしい昭和レトロな雰囲気を持続するため、推奨される店舗の看板や店構えなど

基本データ

六角橋商店街連合会

所在地:神奈川県横浜市神奈川区六角橋

人口:約 12 万人(横浜市神奈川区)

会員数:159 名

店舗数:163 店舗(買回品小売店 38、最寄品小売店 29、飲食店 51、サービス店 19、その他 26)

商店街の類型:近隣型商店街

主な客層:主婦、高齢者、家族連れ

関連 URL:<http://www.rokkakubashi.jp/>

商店街概要

東急東横線白楽駅周辺に位置し、旧綱島街道沿いの大通りと、昭和レトロな雰囲気のある仲見世通りとで構成される商店街で、近隣住民が日常的に買い物に訪れるほか、神奈川大学の学生達も訪れ活気がある商店街である。また、東急東横線、みなとみらい線と東京メトロ副都心線との相互直通運転が開始されて以来、市外、県外からの客も増加する傾向にある。



昭和レトロな雰囲気を維持した六角橋商店街

の設えを掲載した「六角橋商店街レトロモデル作法集」を作成した。

趣あるまちなみを活かした商店街イベントも多数あり、16 年間続く夜のフリーマーケット「ドッキリヤミ市場」や、商店街の路地で寝る「チャリティ野宿」など、個性的なものばかりで、遠方から訪れる人も多い。

【効果の評価及び改善策】

Check-Action

次世代に向けて

現在は、「六角橋商店街地区まちづくりルール」を運用するとともに、「六角橋商店街地区安心・安全なまちの環境整備計画」（地域まちづくりプラン）の策定に向け、定期的にまちづくり検討会議を開催している。

プランでは、商店街のまちなみ全体の将来イメージを形にし、街路灯や防犯カメラなどの整備計画や、交通量の多い大通りの歩行者空間の改善、防火・防災力向上のための取組を計画するほか、交流場所やイベント等による商店街の賑わい創出や魅力発信等により、人と人をつなげる仕組みを計画している。

【実施体制等】

様々な団体との連携・支援

商店街の近隣に所在する神奈川大学と連携し、まちなみ調査やワーキング等による検討を踏まえた「六角

橋商店街レトロモデル作法集」の作成や、「ドッキリヤミ市場」等の商店街イベントの企画・運営を行っている。さらに、定期的に行っているまちづくり検討会議には、神奈川大学のほか、まちづくりコーディネーター、商店街支援団体、行政なども参加・連携している。

また、地元信用金庫では「六角橋商店街応援ローン」による活性化支援が行われており、この取組は他地域にも広がりを見せている。



16年間続く夜の「ドッキリヤミ市場」



キーパーソン

六角橋商店街連合会
会長 石川 清貴

個性的なイベントを積極的に

六角橋商店街は、戦後バラックが建ち並び、商店が集まったのが始まりです。今でも細い路地には昭和 20 年代のお店がそのまま残っている一方で、若い店主の雑貨屋やカフェなどの新しいお店もある、そんなほどよくごちゃごちゃなレトロ感が、一番の特徴です。

現在、当商店街では個性的なイベントが、多く開催されています。昨年 100 回目を迎えた夜のフリーマーケット「ドッキリヤミ市場」や、周辺飲食店のグルメイベント「食べくら横丁」、また、六角橋が発祥の「商店街プロレス」は昨年 10 回目を迎え、現在では夏の風物詩となっています。

このような個性的なイベントが長く続けられてきたのは、役員達が「ダメでもともと。店主も客も楽

しめるようにしたい」という気持ちで仕掛け続けて、地域の皆さんからも温かく見守っていただいたからです。

また、イベントの運営には、地元神奈川大学の学生達のサポートも大きいです。

このように取り組み続けてきた「ドッキリヤミ市場」は、平成 25 年に「横浜・人・まち・デザイン賞」の地域まちづくり部門を横浜市から受賞しました。

商店街全体の力を結集して集客力向上

個店だけでは地域間競争にはなかなか勝てません。商店街全体の力を結集して集客力を高めることで、結果的に自分たちの店にも返ってくるのです。

当商店街は、20 年ほど前までは店舗の 1 割が空き店舗でしたが、イベントによる賑わいづくりや、安心・安全な商店街環境づくりに積極的に取り組みつづけ、今ではすべての店が埋まっています。

他の商店街ではやらないようなことに取り組み、これからもお客様に喜んでいただけるよう、六角橋商店街が「よそにはない商店街」として地域に愛され続ける商店街でありたいと思います。